

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 2 月 5 日作成)

小委員会名	建築教育将来検討小委員会		主 査 名：五十嵐 健 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築教育本委員会		委員長名：稲葉 武司 主 査 名：
設 置 期 間	2007 年 4 月 ~ 2011 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築を取り巻く社会環境の変化に建築教育が対応する課題について、建築技術革新、産業構造と建築系学生の進路の多様化の視点から調査研究を行う。 ・ 07 年度は初年度として、委員会の組成と4年間の活動計画の検討を行う。 ・ 全国大会において研究集会を開催し、大学における実践教育の課題を探る。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	主査：五十嵐健(早稲田大学) 幹事：衣袋洋一(芝浦工大) 委員：浦江真人(東洋大学) 三原斉(ものづくり大) 松島史朗(豊橋技術科学大学) 田村彰男(竹中工務店) 倉斗道夫(日本設計)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2007 年度予算	150,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 2007 年九州大会(福岡大学)建築教育部門 P D 報告 (建築教育研究論文報告集に掲載)
講習会	1. なし 参加者数 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. なし 参加者数 名
大会研究集会	1. 実務経験を持つ教員の見た建築教育の課題と展開 参加者数 70 名 (資料名)実務経験を持つ教員の見た建築教育の課題と展望 大学の出口戦略強化に向けて
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1.
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 委員会の組成と4年間の活動計画の検討を行う。(当初計画事項) 2. 全国大会研究集会を開催し、大学における実践教育の課題を探る。(当初計画事項) 3. 研究集会報告書を作成し建築教育研究論文報告集に掲載。(新規実施事項)
委員会活動の問題点 ・課題	1. 全員新メンバーでの発足のため、組織の組成・研究課題の把握と認識共有のため、本年度活動の多くを費やした事。次年度活動において、調査研究の課題を整理し、研究の成果を高めて行きたい。

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。